

巨木を相手に、斧や鑿でひたすらに削り、時に内部に自らの身体を潜り込ませながら彫り進める。藤原千也の制作行為は、闘うように、しかし一方で樹木が重ねてきた年月とその生命を慈しみながら、木との対話を重ねていく。顕現される造形は、荒々しさと圧倒的なエネルギーを湛え、重厚な荘厳さを漂わせる。穏やかな陽光のなかも、吹きすさぶ嵐のなかも、絶えず大地に根差し続け経てきた年月、その重みが十全に感じられる。

一言でいえば壮観であり、鑑賞者はその存在感に圧倒される。しかしその壮観さは、ただ物理的な大きさだけに依拠するものではない。人間とは違う時間軸や存在、そしてその魂に迫ろうと立ち向かう彫刻家の姿。そうした様々な重さが、自然の木そのものかのような造形に内包されているためであろう。

本展の作品は、「この木が生まれた時の光をみたい」と思ったことがきっかけだという。気の遠くなるような歳月を遡り、その核に迫っていく。生命が存在することそのものの強さが、光の舟となって現れる。

佐藤 康平（札幌芸術の森美術館）



藤原 千也
Fujiwara Kazuya

【略歴】

- 1978年 北海道札幌市真駒内柏ヶ丘に生まれる
- 2002年 大阪芸術大学美術学部立体造形学科卒業
和歌山県高野町森林組合に所属（2004年まで）
- 2018年 北海道教育大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻
美術教育専修 空間造形研究室 修了

【主な受賞歴】

- 2001年 第51回西宮市展 西宮市展奨励賞受賞
- 2008年 第83回道展 入選
- 2020年 第23回岡本太郎現代芸術賞展 特別賞受賞
- 2020年 十勝文化団体協議会 文化奨励賞受賞

【近年の主な活動歴】

- 2009年 [個展] ひらかれている（茶廊法邑／北海道札幌市）
- 2010年 [個展] ひらかれている（FLOWMOTION／北海道帯広市）
- 2011年 [個展] ひとつの中心と呼吸する（とかるね／北海道豊頃町）
[個展] N.P.blood 21 vol.10 藤原千也展 ひとりのひとにひとつずつの（北網圏北見文化センター美術館／北海道北見市）
- 2013年 JRタワーアートプラネットグランプリ展（プラニスホール／北海道札幌市）
道東アートファイル2013 in the LIGHT / in the SHADOW（北海道立帯広美術館／北海道帯広市）
- 2014年 帯広コンテンポラリーアート2013-14 防風林アートプロジェクト（空港線沿い防風林及び雪原 帯広市民ギャラリー／帯広市）
モケラモケラ企画若手作家シリーズ1 からすと山羊と鉛 見上げれば空展（Art Space/café MOKERA MOKERA／旭川市）
- 2015年 The open plan 十勝の明日（北海道帯広市）
六花ファイル（六花亭 六花文庫／北海道札幌市）
- 2017年 ひかりの抜け道（大丸藤井セントラル／北海道札幌市）
ピカリ展 -12人の切り口-（丸彦渡辺建設 まるひこアトスペース／北海道札幌市）
- 2018年 藤原千也 オープンアトリエ（北海道河西郡中札内村）
- 2019年 第38回帯広市民芸術祭 招待作家展 藤原千也展 -ふたたび生成のうちに-（帯広市民ギャラリー／北海道帯広市）
はこだてトリエンナーレ／藤原千也展 -光景-（木古内町郷土資料館／北海道十勝郡木古内町）
JRタワー アートボックス（JR札幌駅／北海道札幌市）
松本道子×藤原千也 ダンスと彫刻のコラボレーション（藤原千也のアトリエ／北海道河西郡中札内村）
第23回岡本太郎現代芸術賞展（川崎市岡本太郎美術館／神奈川県川崎市）
藤原千也 特別企画展（中札内文化創造センター／北海道河西郡中札内村）
- 2021年 札幌美術展 アフターダーク（札幌芸術の森美術館／北海道札幌市）
- 2022年 札幌市南区芸術祭（COみどり／北海道札幌市）
藤原千也 オープンアトリエ・生成 -（北海道河西郡中札内村）

<https://kazuyafujiwara.com>



太陽の舟 2021年 木（ボブラ）h207 x d208 x w700(cm)
写真撮影：前澤良彰 画像提供：札幌芸術の森美術館



太陽のいす 2018年 木（エゾマツ）h210 x d80 x w80(cm)



未題/生成 2022年 木（エゾマツ）h23 x d6 x w60(cm)
写真撮影：箕浦伸雄